

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	ボランティアや、地域の方の立ち寄りや介護相談などを受け入れられるような、開けた施設づくりを目指していただきたい。 また、施設内の行事やイベントの際などに、可能な範囲で近隣の方々へ声掛けできるような関係を築いていっていただきたい。 以上期待します。	介護相談など近隣の方々が気兼ねなく立ち寄れるような関係性を構築する。	近隣の方々と日頃から積極的に挨拶を交わし当ホームの活動や取り組みを知っていただく。	12 か月	
2	4	家族の出席が固定になっているが、次年度以降、他のご家族のみなさんにも声をかけていこうと考えている。 また、包括からも出席の意向あり、と聞く。様々な意見が上がり、情報交換・共有ができるのは望ましい事であり、ぜひ上手くいっていただきたく、期待します。	運営推進会議の開催日を固定することで、ご家族様の参加率向上に繋げたい。	開催日を固定することで、ご家族様のスケジュールに入れていただけるようお願いする。	12 か月	
3	10	事業所の運営母体が変わって、もうじき2年になることでもあり、事業所として家族アンケート(満足度など)をとったり、家族会を開催したりすることで、いつもと違ुकたちで家族の声を集約してみるのも良いのではないだろうか。	ご家族様の声を集約しサービスの質の向上に繋げたい。	施設サービス計画書の更新時に満足度等の聞き取りを行い、ご家族様の声を集約する。	12 か月	
4	37	訓練について、地域の方や家族に報告をする事で、万一の場合の協力を仰ぎ、地域ぐるみでの対策を考える事ができると思います。運営推進会議の同一日に訓練を合わせるのもよろしいかと思います。	年1回は地域の方やご家族様にも避難訓練へ参加していただき有事に備えたい。	避難訓練の実施日を運営推進会議と同一日とすることで地域の方々やご家族の皆様に参加のご協力をお願いしていく。	12 か月	
5	38	運営母体が変わったことで、言葉遣いや話し方、呼び方などについても職員全体が変革を求められていると認識して、足並みを揃えて対応されるよう、今後とも期待します。	丁寧な声掛けや立ち振る舞いを心掛け、入居者の皆様に安心して生活していただける環境を作る。	内外部での研修に参加し接遇について知識を深める。	12 か月	
6	51	家族との外出もOKではあるが、外出先でのお世話の度合いなどを含めて、家族の対応にも温度差があり、また外出の際にけがをしたり、ということも見られている、と聞きます。ただこの点は、現状は静観せざるを得ないと思います。	定期的に外出ができる機会を設け、季節を感じていただく。	大がかりな外出には必要以上にマンパワーを要してしまう為、小グループに分けることで外出の機会を増やしていく。又、ご家族様には外出に必要な介助方法など介護指導も行っていく。	12 か月	
7	54	季節の飾りつけをみんなで考えて施して(利用者の「手」のリハビリにもつながる)、明るくうきうきするような共有スペースであり続けてもらいたく、十分な配慮を今後ともお願いしたいと思います。	照明や室温、音環境を調整し、家庭的で穏やかな雰囲気を保つ。	テーブル配置やソファ配置を工夫し、会話や交流がしやすい空間にする。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☐	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話合った
			②利用者へサービス評価について説明した
		☐	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施		①自己評価を職員全員が実施した
		☐	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話合った
		☐	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話合った
		☐	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話合った
		☐	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話合った(予定である)
		☐	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用	☐	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
			③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		☐	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()